

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：<http://j-jafra.jp/>

巻頭レポート

中京地区に新たな鉄道展示館がオープン 「リニア・鉄道館」 「夢と想い出のミュージアム」

今年3月14日（月）、JR東海が名古屋市の「モノづくり文化交流拠点構想」に参画して建設を進めてきた「リニア・鉄道館」が開館しました。

「リニア・鉄道館」は東海道新幹線を中心に、在来線から次世代の超電導リニアまでの展示を通じて「高速鉄道技術の進歩」を紹介しています。

開館にあたって、3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災者の皆様にお見舞い申し上げるため、予定していた開館セレモニーを中止して、来館されたお客様とリニア・鉄道館のスタッフとともに黙祷をささ



蒸気機関車の速度世界記録
昭和29年(129km/h)



電車方式の速度世界記録
平成8年(443km/h)



鉄道の速度世界記録
平成15年(581km/h)

げました。

高速鉄道技術の進歩を実際に手で触れて体感していただくために、エントランスを入って最初に出会うのが、昭和29年に狭軌鉄道の蒸気機関車として当時の世界最高速度（時速129km）を記録したC62形式。次いで平成8年に電車方式として当時の世界最高速度を記録した（時速443km）955形式新幹線試験電車（300X）が、そして平成15年に時速581kmという鉄道の最高速度を記録して、現在もその記録を保持している超電導リニアMLX01形式、この3両が並んで来館者の皆様を出迎えます。

先人たちが築いた鉄道技術の進化は、大正時代から現在に至るまでの鉄道の歴史を刻む39両の実物車両が展示されて、一部を除いて直接手で触ることや、実際に乗込むことができるようになっていきます。開館初日には約3,400人も幅広い年齢層のお客様が来館され、5月の連休の時は一万人近いお客様で賑わいました。

実際に訪れてみると、子供たちからは「大人になったら新幹線の運転士になりたい」という声がかかれ、大人からは少年時代の想い出が語られていました。

鉄道のノスタルジックな楽しみと

株式会社ジェイアール
東海エージェンシー



ジオラマの一部：ものすごい数の人物フィギュア

線が開業したときに東京駅で販売していた幕の内弁当をできる限り忠実に再現した復刻弁当は、最高の館内グルメです。

また「鉄道の24時間」をテーマとして、精緻に再現した鉄道ジオラマも目玉の一つです。

東京から大阪までの区間の代表的な建物や情景の中を、実際に鉄道模様が走行し、夜間作業の様子も見る



ノスタルジックな復刻弁当 800円

して、中高年の人に感慨深いのが、駅弁もその一つと思います。昭和39年に東海道新幹

ことができます。また、驚くことに道路上のクルマも実際に走っています。人物のフィギュアは2万5千体にも及ぶといわれています。

このジオラマには製作者による遊び心で、様々な秘密が隠されており、それを捜すのも一つの楽しみではないかと思えます。(ここでは一つだけ参考写真をご紹介します)



名古屋城の天守閣近くで、金のシャチホコを狙う泥棒が凧に乗っているのがわかりますか？

次の目玉はやはり新幹線N700系の運転シミュレーターです。

これは実際に実物大の運転台に乗って、15分間という時間で運転の体験ができるものです。時速270kmで走行し、東京から名古屋までの仮想区間を運転します。運転士気分を十分に味わえるものです。

当然、新幹線だけでなく在来線のシミュレーターもあり、ここでは運転の他に、車掌の体験ができるシミュレーターも面白いと思います。



ミュージアムショップ

当社が運営するミュージアムショップは、「リニア・鉄道館」でしか手に入らないオリジナルグッズなど約1300アイテムを用意して、ご来館されたお客様から好評をいただいております。

高速鉄道技術の進歩を多くの人々に楽しみながら理解していただき、何度でも来ていただいで楽しむことができる、名古屋の新しい観光名所として、皆様のご来館をお待ちしております。

夏休みの期間中は、様々なイベントも開催されています。詳しくは「リニア・鉄道館」のホームページで確かめ下さい。

<http://museum-jr-central.co.jp/>



リニア・鉄道館外観

〔アクセス〕
JR名古屋駅よりあおなみ線
「金城ふ頭駅」下車徒歩約2分

〔利用案内〕
開館時間
10:00～17:30
(最終入館は閉館30分前まで)

入館料
大人1000円
小中高生500円
幼児(3歳以上未就学児)200円

休館日
毎週火曜日(祝日を除く)
12月28日～1月1日

広場

「車窓からの発見」

常任理事 正盛 和彦 (株式会社オリコム)

毎日電車で通勤されている皆さん、最近、車窓の景色を楽しんでいますか？

私は夏至の6月22日は18時過ぎに会社を出て、上野発18時35分発の高崎線で帰路につきました。少し楽をしてグリーン車で通勤していますが、久々にストレス解消に音楽でも聴いて帰ろうと、スマートフォンで「You Tube」で、小林桂の「Check to Check」を聞きながらまだまだ明るい夕暮れの車窓から外を眺めていると、なんとも言えずくつろげました。特に良いことがあった訳ではありませんが、いつもの景色が何故か違って見える気がしました。まだ車内は半分くらいの乗車率です。少し走ると遠くに建設中のスカイツリーが見えて、鶯谷のホテル街を横目に、

左側に王子の飛鳥山公園、線路沿いの道に色鮮やかな紫陽花が見えてきます。
 (春は桜が素晴らしい)
 その日は、所謂鉄道マニアの少年、青年、



中年の人がたくさん線路沿いにカメラを構えていました。多分珍しい電車が通るのでしょう。それを見て気がついたのですが、女性は一人も見かけませんでした。鉄道・電車のファンは圧倒的に男子が多いのでしょうか。

私が住んでいる上尾駅まで37分の乗車時間、馴染みの無い方は、上尾に近づくにつれてのどかな田園地帯を走ることかと思われるかもしれませんが、沿線は荒川の鉄橋付近が唯一の開けた景色で赤羽・浦和・さいたま新都心・大宮駅と戸建住宅とマンション、高層ビルが目立ちます。上野からさいたま市周辺まで切れ目なく延々と都会が広がっているのを実感します。



大学に入学して首都圏に住むようになり初めて電車での通学を体験し、気ままに引越しながら、通学・通勤に利用してきた電車を思い出してみると、東武東上線・山手線・京王線、西武池袋線・丸の内線・新総武線・銀座線・・・、通勤時代の札幌地下鉄そして高崎線、考えて見るとそれぞれに違う景色を何年も眺めて

きたはずですが住み慣れるにつれて特別の感慨もなく見過ごしてきた気がします。昭和46年に進学のため生まれ育った北海道を離れ富良野から6時間、函館からは青函連絡船で4時間かけて青森に渡り、青森駅から8時間くらいかかったかと思えます。当時は本州に入ると瓦屋根の家がすぐ立派に見えたことを思い出します。夜行列車だと日の出の太陽に感動します。それが今は東北新幹線、はやぶさ、だと約3時間で青森！今は気軽に出かけられる近さに感慨深いものがあります。故郷を離れて40年、今年還暦を迎えますが、3月の震災後あらためて車窓の景色を眺めながら、何事もなく平凡な日常が送れることに心から感謝しています。

今年の夏は、アツイ通勤が続くと思えますが、「30年位前にはエアコンについてなかったよな」という会話を耳にします。夏休みは近くなった東北を旅したり、通勤もたまには車窓の景色を楽しみながらこの夏を乗り切りましょう。

今回は理事 林香弘氏の予定です。お楽しみに。

平成23年度定期総会を開催

6月30日(木) ホテルメトロポリタンエドモントで多数の会員が出席して開催した。

6月30日(木)14時30分、ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、平成23年度定期総会を開催し、平成22年度事業報告及び決算、平成23年度事業計画及び予算案、協会役員の選任案などを審議した。

岩崎会長挨拶

本日は大変お忙しいところ定期総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

公益社団法人になりましたのが、昨年の8月です。従いまして今回の決算は旧社団法人時代の部分と公益社団法人の部分がつながった決算をすることになっております。大きく制度が変わり、なかなか厳しい面もありますが、皆様のご協力とご支援のお陰で今まで順調に運営を続けております。このままいけば実績をあげながらこの組織を維持できると思います。皆様方の今後一層のご協力をお願い申し上げます。

今般の大震災で我が国の経済はどん底に落ちてしまったという感じがします。現地の地震、津波の直接被害は徐々に片付い



挨拶する岩崎会長

ていくことになると思いますが、原発の損壊による放射能の漏出についてはなかなか難しい問題だと思われれます。報道によれば全国に54基ある原発の内2/3が定期検査の後も停まったままとのことです。その中で佐賀県の古川知事が、政府の説明を受け、安全は十分に確保されているということ、運転再開にOKを出しています。先端技術立国の日本は、火力、水力、風力、だけではとても賄えないエネルギー量を必要としています。従って、原発の万全な管理に向けて新しい技術を導入し、安全にスムーズに運用して行くことが、日本経済を発展させる基礎的条件だと思えます。そういう意味でも、日本の技術者ががんばれと言いたい。わが国には原爆被災の歴史があり、市民感情を考え慎重の上にも慎重を期し

て、対処せねばなりません。原発ストップというのも現実離れしているように思っています。

一方、我々の業界の中にも大変な被害を受けた方がいます。東北支部からは支部長より、今回の地震、津波、原発の被害を受けた会員に対し、今期に限り会費を免除してほしいという切なる陳情があり、先ほど理事会で審議し、厳しい状況ではありますが了承することといたしましたので総会の皆さまにもご理解の程お願いいたします。ともかく、皆で艱難に立ち向かっていく。決して諦めない。変にシユリンクして小さくまとまらない。このことを心に決めて皆さんと一緒に努力してまいりたいと思っております。ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

第1号議案・第2号議案

平成22年度事業報告(案)及び、平成22年度決算(案)は、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づき過半数の賛成により議決された。

第3号議案

平成23年度事業計画(案)について

1. 基本方向

平成23年年初は前年来低迷が続けてきた景気に僅かながら、回復の気運が感じられたが3月11日の東日本大震災を境に状況は一変、未曾有の困難な事態となった。

このため新年度の協会予算は、昨年度にひきつづき会費の軽減を行なうとともに支出面でも協会諸経費の削減、事業計画の見直し、繰延べなどによりバランスを維持することとしている。併せて公益社団法人として初めての通し年度となる23年度の公益事業比率50%超を確保した。この結果、協会運営は率直に云って窮屈なものとならざるを得ないが、協会会員各位の理解と協力を得て、この緊急事態を乗り切ることとしたい。

一方、原発発電量の低下に伴う夏季の電力需給の逼迫に鑑み、政府の電力需給緊急対策本部は「東京、東北電力管内全域において目標とする需要抑制率を△15%(7月1日から9月末までの平日の9時から20時の電力消費量の実績対比)とする」ことを決めている。

この趣旨を受け、過日、緊急に当協会会長、副会長会議を招集し協議の結果、「極めて厳しい状況に鑑み当協会としても東京、東北電力管内においては政府の方針に沿い概ね15%程度減を用途に電力抑制策を講じることとし、具体策については早急に特別委員会を設置して検討することになった。会員各位のご理解と

真摯な取り組みをお願いしたい。

このほか、23年度に注目されるのはデジタルサイネージが鉄道広告の主流として本格的普及の段階に入ることである。このため、ネットワーク化、美観風致との調和、適切な価格設定、媒体サイズ、アカウントビリティ、等の課題について、そのあり方や標準化について具体的な方向付けが急務となっている。

いずれも懸案事項であり、アカウントビリティのような難問もあるが、いわば、広告進化に伴う前向きな明るい課題として受け止め関係各位の格別の御尽力により解決の緒口が掴み出せるよう努めたい。



監査報告をする監事稲垣義孝氏

2. 各委員会の主な活動目標

総務財務委員会

- 新規会員への入会促進（公益社団法人として募集キャンペーンを展開）
- 公益社団法人としての協会運営のあり方についての検討
- 公益法人会計基準の導入
- 支部活動活性化支援
- 年次報告書の作成
- 他広告団体との交流

総務・財務委員長
長渡 泰二

新規会員の入会の促進については、公益社団法人として募集キャンペーンをしております。公益社団法人としての協会運営のあり方について検討を行ないます。また非常に複雑だという公益法人会計基準の導入、予算付けております支部活動の活性化の支援、それから1年間の協会の動向を皆様にお知らせするための年次報告書の作成を、本年度も稲川一編集責任者を筆頭に、編集委員の皆様のお力を借りて編集していきたいと思っております。また、他広告団体との交流をしてまいります。

倫理委員会

- 倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- 鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- マナーキャンペーン継続実施
- 広告倫理に関する事例研究会の実施
- 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員長
清水 英明

今年の1〜3月にかけて実施しましたマナーキャンペーンにご協力いただきました会員の皆様並びに

鉄道会社の皆様方にこの場をお借りして御礼を申し上げます。23年度の事業計画は以下5点です。掲出基準に基づく広告審査実態の継続的な把握、鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適応に関する教育研修の実施、マナーキャンペーンの継続実施、広告倫理に関する事業例研究の実施、そして、日本広告審査機構、日本雑誌協会との意見交換会などの計画、以上です。

美観風致委員会

- 環境委員会と共同による第5回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- 美観対策事例の収集と紹介
- 美観事例集の刊行へむけての準備
- 美観風致に関する教育研修・訓練の実施

美観風致委員長
滝 久雄

今年で5回目を迎えます地球温暖化防止キャンペーンを実施いたします。今回は日本宝くじ協会からの給付金額が、事業仕分けにより減額となったことや、給付をしたという確かな足跡をこのキャンペーンに残したいということから、デザインにもかなりの注文がしております。作品は理事でもある芸大の宮田学長を始め、日本を代表する芸術家の方に協力をお願いしております、いい

作品を提供していただけたと思います。その他の活動といたしまして、美観対策事例の収拾紹介、美観事例集の刊行準備、例年通り美観風致に関する教育研修などを実施したいと思っております。

安全委員会

- 「絵で見る安全作業マニュアル」（改訂版）の発行
- 作業手順マニュアル及びチェック集の素案作成
- 安全管理体制に関する調査研究の推進
- 安全作業に関する教育研修の実施
- 安全作業に関する実設訓練の検討

安全委員長
稲垣 義孝

安全委員会では教育研修の教科書となりうるような冊子類の発行を継続して行なっていきます。「絵で見る安全作業マニュアル」（改訂版）の発行、作業手順マニュアル及びチェック集の素案の作成を行ないます。その他3点ほど掲げております、安全管理体制に関する調査研究の推進、安全作業に関する教育研修の実施、安全作業に関する実設訓練の検討を今年度は行なっていきたいと思っております。

環境委員会

- JAFRA環境方針の策定
- 環境に関する手引書及びポスターの制作と配布
- 環境に関するセミナー開催
- 第5回地球温暖化防止ポスターキャンペーンの実施

環境委員長
神田橋 治

環境委員会では会員各社の環境対策に対する取り組み状況の把握を行なってまいりました。アンケート調査にご協力いただきJAFRAPNEWSでも報告させていただきました。結果としまして、ISO14001を取得されているところもありますが、環境問題に取り組んでいる会員社は約1割で、8割強は未着手という現状です。昨年度は、環境対策の事例集の収集を行なってまいりましたが、今年度は環境対策を皆様に実施していただけるような準備をして、実行する年と位置付けております。以下、JAFRA環境方針の策定、皆様に環境問題に取り組んでいただけるよう環境に関する手引書、啓蒙のためのポスターの制作を検討していきます。環境についての理解促進をしていただくためにセミナーの開催、美観風致委員会と第5回地球温暖化防止ポスターキャンペーンの実施などの委員会活動を進めていきます。

標準化委員会

- 2011年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開
- 各標準化プロジェクトの推進
- ①業務近代化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウントナビリティ拡充・データ整備を図る
- ②携帯マナーに関する表記の標準化の検討、デジタルサイネージ化に関する各種標準化の検討

標準化委員長
正盛 和彦

2011年度版「全国鉄道広告料金表」を当協会ホームページへの収録と公開を実施いたします。今年度は、業務近代化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウントナビリティ拡充・データ整備、携帯マナーに関する表記の標準化の検討、デジタルサイネージ化に関する各種標準化の検討という2件の標準化プロジェクトを実施いたします。

人材育成委員会

- 「交通広告ビジネス概論」（改訂版）の発行
- 鉄道広告実務者研修の実施
- セミナー、シンポジウムの実施

人材育成委員長
小野寺 忠之

現在「交通広告ビジネス概論」は2007年度版の大幅なレベルアップを図り、各編集委員の協力を得て順調に編集が進んでおります。7月末にはお渡しできるのではないかと思っております。鉄道広告実務者研修の実施は支部と共に開催いたします。また、セミナー、シンポジウムの実施は、昨年大変反響が大きかったため今年も是非実施いたします。

技術開発委員会

- デジタルサイネージに関する情報の共有と具体的導入の促進
- 鉄道広告のアカウントナビリティに向けた技術開発の促進（標準化委員会・調査研究委員会との共同による取組み）
- その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化

技術開発委員長
浅沼 唯明（代理：河田健治）

デジタルサイネージに関する情報の共有化と具体的導入の促進、鉄道広告のアカウントナビリティ（性別・年齢別の認知率など）に向けた技術開発の促進、標準化委員会・調査研究委員会との共同により、その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化をメインに推進していきます。

調査研究委員会

- 効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- e・販促データシステムの改修を基盤としたインフラとしてのJAFRAシステムの検討
- （広告料金、利用者数、輸送人員等のマーケティングデータ提供）
- 媒体活用事例の調査と紹介
- マーケティング講座の開設

調査研究委員長
栗原 圭一

効率的なメディアプランニングに関する研究の促進をしていきます。またe・販促データシステムの改修を基盤としたインフラとしてのJAFRAシステムを検討することについては、システム自体が大分古くなってきておりますが、システム製作費を安くできる時代になってまいりましたので、よりよいものを作成するよう検討したいと思っております。また、媒体活用事例の調査と紹介とマーケティング講座の開設については従来どおりJAFRANEWSを通して進めていきます。

業務近代化委員会

- 標準化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウントナビリティ拡充・データ整備を図る

- 優先的な業務近代化の課題提言
- デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員長
柳館 毅

主な活動目標は、前年度と同様、広告主から強く要望されているアカウンタビリティの中でも特に各鉄道会社によって異なるデータ整備、この標準化を大きなミッションと受け止めております。具体的な活動は、標準化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウンタビリティ拡充・データ整備を図る。優先的な業務近代化の課題提言。デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討、以上です。

PR委員会

- 「JAFRA NEWS」の自前編集と隔月発行の継続
- ホームページの充実
- ①公益社団法人としての各種情報の提供
- ②「地球温暖化防止キャンペーン」等に合わせた専用ページの開設
- ③公益社団法人としての協会PR

PR委員長
石塚 正孝（代理：河田健治）

昨年と同様、「JARAP NEWS

「S」は隔月発行となっております。ホームページの充実としては、公益社団法人としての各種情報の提供、「地球温暖化防止キャンペーン」等に合わせた専用ページの開設、併せて公益社団法人としての協会PRを図っていききたいと思います。



3. 各支部の主な活動目標
北海道支部

- 支部幹事会の開催（4月）
- 支部総会の開催（4月）
- 媒体会議の開催（年4回）
- 研修会の開催（24年1月）
- 新規会員の入会懇談
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

北海道支部長
石見 誠嗣

支部の幹事会、総会は既に4月に開催いたしました。今後は媒体会議の開催、前年度に続き、新駅の対応を含めた情報の交換を進めていきたいと思っております。また、来年になりましたら支部の研修会を開催したいと考えております。また、大変厳しい情勢でございますが、例年通り新規会員の入会懇談も一つの課題として取り組んでまいります。地球温暖化防止キャンペーンも実施いたします。

東北支部

- 支部総会の開催
- 支部セミナーの開催
- 関東・関西地区媒体開発事例の東日本支部への導入の検討
- 新規会員の入会懇談
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

東北支部長
佐藤 俊一郎

3月11日の大震災、4月7日には余震もありました。全国各地、各方面の皆様から非常に温かい御支援を頂き本当にありがとうございます。御礼を申し上げます。全国皆同じ問題を抱えていると思いますが、当支部は、まだ媒体自体が大きな損壊を

しているところが多く、未だに復旧できていない部分もあります。福島県浜通りは、そもそも現地調査できないという状況で、順次復旧は行われますが、収益圧迫要因になりつつあります。また一部の代理店を含め、広告主も被災したところが多く、出稿取り止めが未だに続いている状態です。太平洋側3県の第一四半期は前年比50%を確保できないという状況が多いという状況ですので、支部総会、セミナーなどはいつやるという目途もたて難い状況です。しかしながら、復興の足音はかなり確実なものになりつつありますので、私どもも復興に積極的に係わるといこうと、世の中の役に立っていききたいと思っております。

首都圏支部

- 支部幹事会の開催（7月）
- 支部セミナーの開催（10月、12月、24年2月の3回を予定）
- 鉄道広告実務研修の開催（9月）
- 支部総会の開催（24年2月）
- 関東交通広告協議会（11社会）との連携強化
- 地域間交流の促進
- 新規会員の入会懇談
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施
- マナーキャンペーンの実施

首都圏支部長
佐々木 信幸

実施内容の詳細は、7月下旬に支部幹事会を予定しておりますのでここで決定いたしますので、事柄だけ説明いたします。昨年は支部セミナーを2回開催しましたが、今年は3回実施する計画をしています。鉄道広告実務者研修、支部総会は例年通り開催します。関東広告協議会、11社会との連携強化は色々な機会を捉えて実施してまいりたいと思います。地域間交流の促進については、昨年も実務者研修を地方の支部と連携をしておりましたが、それぞれ地域の要望で今年は内容を決めてまいります。その他、地球温暖化防止キャンペーン、マナーキャンペーンについては本部の方針を堅持して行ないます。

中部支部

- 支部総会の開催（6月予定）
- 支部セミナー・実務者研修の開催
- 他地区の媒体視察・情報交換会の実施（秋頃予定）
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施（8月予定）
- マナーキャンペーンの実施

中部支部長

石塚 正孝（代理：河田健治）

支部総会、支部セミナー、実務者研修の開催、他地区の媒体視察、情報交換会の実施等、いずれも秋ごろ

の予定となっております。地球温暖化防止キャンペーン、マナーキャンペーンいずれも行なってまいります。

近畿・中国・北陸支部

- 幹事会の開催「7月11日（月）・2月」
- 支部通常総会・懇親会の開催「7月11日（月）」
- 支部セミナーの開催「7月11日（月）」
- 交通広告実務研修会（支部会員の社員対象）「9月9日（金）予定」
- 地球温暖化防止全国キャンペーン実施に向けての推進（エキからエコ）
- マナーキャンペーン実施に向けての推進
- デジタルサイネージ化・ネットワーク化に伴い、視察及び情報の共有化
- 大型プロジェクト開発・開発効果の活用と（鉄道・流通）の情報収集
- 業界諸団体との連携強化（各媒体社広告協会等の団体・O A A A・関西交通広告協議会等々）
- 本部各委員会との情報共有化と連携強化
- 新規会員の入会拡大（正会員、賛助会員）

近畿・中国・北陸支部長

浅沼 唯明（代理：河田健治）

7月11日に幹事会を開催、2月にも予定しております。支部セミナーを7月11日、交通広告実務者研修を

9月9日に予定しています。地球温暖化防止キャンペーン、マナーキャンペーンはそれぞれ協力いたします。デジタルサイネージ化、ネットワーク化などに伴い視察及び情報の共有化を図り、大型プロジェクト開発、開発効果の活用と鉄道・流通の情報収集を図ります。業界諸団体との連携強化（各媒体社広告協会等の団体・O A A A・関西交通広告協議会等々）、本部各委員会との情報共有化と連携強化、新規会員の入会拡大（正会員、賛助会員）を従ってまいります。

四国支部

- 支部総会の開催（6月）
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施（8月）
- 支部会員交流会の開催（12月）
- 研修会の開催（24年2月）
- 企画・提案のできる人材の育成
- 新規会員の入会促進

四国支部長

高橋 利治

研修会につきましては、今年5月に大阪ステーションシティがオープンしましたので、来年2月に新しい交通媒体の見学と共に視察をいたします。新規会員の従ってについては、当支部は最小で13社しかありません。四国の私鉄3社に働きかけて

おりますが、まだ入会に至っておりません。今年も引き続き行なっていくと同時に、大手代理店さんの支部もありますので、そちらにも声をかけてまいりますので、本社の方々からもプッシュしていただければと思います。

九州支部

- 支部総会の開催（12月）
- 支部セミナーの開催（12月）
- 支部運営会議の開催（4月、11月、24年3月）
- 支部運営小会議の開催（4月、7月、10月、24年2月）
- 九州支部会員の拡大
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施
- J A F R A N E W Sへの掲載及び各委員会との連携強化

九州支部長

藤内 哲夫

九州では今年3月3日にJR博多駅にJR博多シティという駅ビルが完成しました。また3月12日には九州新幹線が博多駅から鹿児島中央駅まで開通いたしました。暗い話題が多い中、九州ではこの2つの明るい話題を活かしながら会員社の皆様と様々な取り組みをしてまいります。12月の支部総会開催に併せてセミナーを行ないます。また、運営会議で意見交換を行ないながら、小会議

で実務担当者を集めて具体的な施策を考え、今後色々なことに取り組みていきます。支部会員の拡大ですが、4月1日に5社入会していただいたので、引き続き懇願してまいります。

5. 今後の協会行事計画

● 定期総会 平成24年6月29日（金）
於ホテルメトロポリタン（池袋）
富士の間（予定）

同日にセミナー、懇親会を予定

● 理事会

第2回 23年11月 会場等未定
第3回 24年3月 会場等未定

平成23年度事業計画（案）は、挙手により採決の結果、定款第27条に基づく委任状によるものを含め過半数の賛成により議決された。

第4号議案

平成23年度予算（案）は、挙手により採決の結果、定款第27条に基づく委任状によるものを含め過半数の賛成により議決された。



熱心にセミナーに耳を傾ける会員の皆さま

第5号議案

理事の選任（案）について

当協会の「理事の任期」は定款第16条の規定により就任後2年目の定期総会終結の時まで（但し補選された理事任期は前任者の残任期間）となっているが、平成22年6月25日の定期総会終了後、9名の理事より人事異動等の事由による退任の希望があり、新たに理事9名を選任したいと会場に諮り、挙手により採決の結果、過半数の賛成があり議決された。

新たに選任された理事は次の通り。

浅井 栄一氏

京阪電気鉄道(株)

執行役員（運輸業統括）

岩田 圭祐氏

(株)京急アドエンタープライズ

代表取締役社長



懇親会で挨拶をする
東日本旅客鉄道新井副社長

うんやま
上山 英樹氏

南海電鉄(株)

鉄道営業本部営業部長

梅原 昌弘氏

東京急行電鉄(株)

事業戦略室マーケティング部統括部長

清水 公男氏

東日本旅客鉄道(株)

取締役事業創造本部副本部長

畑中 一浩氏

東京地下鉄(株)事業開発部課長

野村 勝彦氏

(株)メトロアドエージェンシー

代表取締役社長

平川 敏彦氏

北海道旅客鉄道(株)

開発事業本部副本部長



懇親会に参加された皆さま



乾杯の発声をする
佐々木会長代行副会長



中締め挨拶をする滝副会長



東北の食材を利用したメニューが並んだ

矢尾 弘氏

近畿日本鉄道(株)

鉄道事業本部企画統括部営業企画部長

II. 報告事項

① 第5回地球温暖化防止キャンペーン
展開計画について

② 東日本大震災義捐金について

みなさまからお寄せいただきました義捐金は6月30日現在で216万円となりました。最終的な金額につきましては、ホームページと次号のJAFRANEWSにてご報告いたします。
みなさまからのご協力本当にありがとうございます。

以上をもって16時18分総会は滞りなく終了した。

(平成23年6月30日 敬称略)

なお、これに先立つ平成23年度第1回理事会において、左記の項目が議決された。

○支部長及び 委員長などの委嘱変更

●北海道支部

支部長

(退任)

山口 力

(株)北海道ジェイ・オール・エー

ジェンシー

(新任)

石見 誠嗣

(株)北海道ジェイ・オール・エー

ジェンシー

近畿・中国・北陸支部

副支部長

(退任)

富田 栄次

(株)大阪オリコミ

(新任)

清水 英明

(株)近宣

●標準化委員会

副委員長

(退任)

山口 力

(株)北海道ジェイ・オール・エー

ジェンシー

●技術開発委員会

副委員長

(退任)

五味 一幸

(株)ジェイオール西日本コミュニケーション

シヨonz

横山 淳一

(株)東急エージェンシー

(新任)

徳光 郁夫

(株)ジェイオール西日本コミュニケーション

シヨonz

河内 綱司

(株)東急エージェンシー

○新規会員の入会承認

当協会の既会員社による入会懇願により、以下の会社から入会希望があった。各社より提出された会社概要等について検討したところ、問題はないため、入会を承認した。

●正会員（6社）

(株)エーディーエー・アドバンス

(株)熊日広告社

(株)ジェクト

(株)宝広告社

東京モノレール(株)

(株)門宣

●賛助会員（1社）

凸版印刷(株)

これにより平成23年6月30日現在の会員数は、正会員社317社、賛助会員20社の合計337社となった。

○電力対策特別委員会の設置と 当面の施策

東日本大震災により東日本東北エリアで夏期の電力需給が逼迫することから、5月13日、国の電力緊急対策本部から節電実行基本方針が示され、ひきつづき5月25日に経済産業省からその具体策が示された。

これらを受けて実効策を策定する必要があるため、電力対策特別委員会を設置し検討した。

●電力対策特別委員会メンバー

委員長…会長

副委員長…各副会長

委員…関係委員長

○副会長の委嘱と 会長の代行順序

(株)メトロアドエージェンシー代表取締役社長野村勝彦氏が副会長に委嘱され、これにより会長の代行順位は左記のとおりとなる。

第1順序 佐々木 信幸氏

第2順序 滝 久雄氏

第3順序 浅沼 唯明氏

第4順序 間宮 泰三氏
第5順序 野村 勝彦氏

○東北支部正会員の会費免除

東日本大震災により大きな影響を受けた東北支部正会員に対して、東北支部長より会費免除の要請があり、検討の結果、止むを得ないものと認められるので、要請通り23年度の会費免除の措置をとることとする。

以上

同日、総会終了後、日本シヨッピングセンター協会環境対策委員長鈴木武氏によるセミナー「環境問題・PAR TII 履行期間（2012年）が迫った国際協約「京都議定書」があり、タイムリーな内容に多くの会員の皆さんが熱心に耳を傾けられていました。

続いて行なわれた懇親会では、東北地方の食材を使用したプレートや地酒が並び、参加された皆さんは親睦を深めていました。

皆さまにはお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

第5回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーンを開催！

エキからエコ。―地球温暖化を、一枚の環境アートから考える。



題に対する社会的警鐘を鳴らし、より豊かな社会の実現に寄与する。

(2)全国の鉄道会社が
行っている環境保全へ向
けての積極的な取組みを
支援し、CO₂排出量の
少ない社会の実現に寄与
する。

ことを目的として

地球温暖化を、一枚の環境アートから考える。」とし、4人の著名アーティストによる「美しい環境と野生生物」をポスターテーマにした内容となっています。

日本の伝統色をコンセプトカラーとして使用していますが、今回はまさに、

「深緑色で森を」「黄土色で大地を」「群青色で海を」「茜色で太陽を」の4色にマッチしたビジュアルになりました。

昨年引き続き、各鉄道会社の協力により、このような大型全国キャンペーンが実現しております。

当協会では今年で5回目になる「地球温暖化防止キャンペーン」を8月5日(金)より全国の電車、駅のポスターを活用して展開いたします。

2012年に履行期間が迫った国際協約「京都議定書」の目的達成というミッションを抱えつつ、更に電力供給量低下による節電を求められる今年の夏、環境に優しい交通機関である鉄道に活動の基盤を置く公益社団法人として「地球温暖化防止」という公共性、社会性の高いテーマの鉄道広告キャンペーンを継続して実施することです。

(1)鉄道広告の持つ高い視認性とネットワーク力を活かして、環境問

今年も全国の拠点エリアで延べ枚数約50万枚のポスターを掲出いたします。また、前回同様、現代を代表する著名アーティスト及びクリエイターがキャンペーン趣旨に賛同し、ボランティアで制作に参加していることも大きな特徴のひとつです。

全体を統一するコピーは「エキからエコ。」



日比野克彦 作 100m drawing in the SEA



宮田亮平 作 悠



大津英敏 作 セーヌ河の朝陽



手塚雄二 作 浅き夢

JAFRAホームページ内でも、期間限定地球温暖化防止キャンペーン特設サイトを立上げ、キャンペーンの概要、各アーティストの紹介、協力鉄道会社の環境活動サイトへのリンクをいたします。今年も親子で鉄道やエコに興味を持っていただけるよう、「夏休みの自由研究」のページを開設し、鉄道各社が具体的にどのような環境活動に取り組んでいるのかを紹介したり、全国各地にある鉄道博物館を紹介するページも設けてあります。

今年の夏はより深く私たちを取り巻く環境について考えてみましょう。

また、昨年からtwitterを使用し、ツブやいてもいますので、https://twitter.com/EcoBoy_xxと検索してみてください。

1. 実施期間

2011年8月5日(金) ～ 8月31日(水)

2. ポスター種類

駅ポスター
 B1ポスター×5種類
 車内ポスター
 B3ポスター×4種類

3. 制作協力

・宮田亮平氏(金工家)
 東京藝術大学学長
 [悠]

・大津英敏氏(洋画家)
 多摩美術大学造形表現学部長
 「セーヌ河の朝陽」

・手塚雄二氏(日本画家)
 東京藝術大学教授
 「浅き夢」

・日比野克彦氏(アーティスト)
 東京藝術大学教授
 「100m drawing in the SEA」

コピーライター…マキプロ

アートディレクター…蝦名龍郎氏
 協賛 財団法人日本宝くじ協会

5. 後援 環境省、国土交通省

6. 協力
 小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、山陽電気鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、名古屋市交通局、名古屋鉄道(株)、名古屋臨海高速鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、福岡市営地下鉄、北海道旅客鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、横浜新都市交通(株)

(37社、五十音順) 7月20日現在)

委員会からのお知らせ

総務・財務委員会

平成22年度年次報告書を
 発行しました



年次報告書編集プロジェクトを結成して今年の2月から進めてまいりましたJAFRAの一年の活動成果を、「年次報告書」として整理し発行することができました。同報告書では、平成22年度の協会の動きを記録として留めてあるほか、広告業界の動向についてもレポートとしてまとめられています。また、今回は佐藤俊一郎東北支部長に、3月11日に発生した東日本大震災の現地の媒体被災の状況などにつきましても寄稿いただきました。

来年度の発行に向けて参考になりますので、会員の皆さまのご意見・感想などありましたらお寄せいただきたいと思います。

6月30日発行 A4 84ページ

編集後記

近所の駅の改札にツバメが巣を作りました。柱の下を乗客が行きかかるとともにぎやかなところなのですが、駅員の方が作成された受け皿(?)に留まっていたり、ヒナたちが通行客の頭上スレスレを飛行練習していたりするのを見るととても心なまされます。今年は節電されていますから、駅の照明も若干暗めになっているのですが、夜でも元気に飛行練習を繰り返していました。ちゃんと飛べるようになって先日無事に巣立って行ったようです。昨年同様、猛暑の日々が続いています。熱中症にならないよう、水をこまめに摂りましょう。その暑い中、今年も8月5日から地球温暖化防止キャンペーンが始まります。みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-afra.jp

●次号Vol.8は10月1日発行予定です。お楽しみに。

